

# 三次農業協同組合

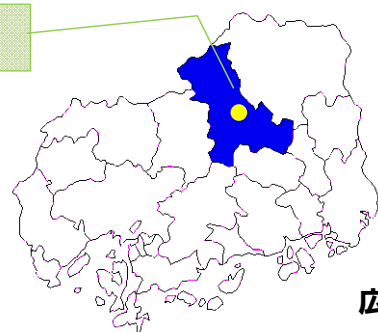
## 子どもは地域の宝

広島県の北部の三次市に本店を置く農業協同組合で、組合員数は21,783人、店舗数は11店舗あります。事業区域は、広島県三次市(甲奴町を除く)で、広島市に、アンテナショップ『三次きん菜館』などを設置し、都市住民と交流を深めながら農業振興を推進しています。

### 団体の概要

- 名称 三次農業協同組合
- 所在地 広島県三次市十日市東三丁目1-1
- 代表者名 代表理事組合長 村上 光雄
- 電話 0824-63-9974
- FAX 0824-62-6733
- HPアドレス <http://www.ja-miyoshi.or.jp/>

### 三次農業協同組合



広島県

### 食育活動の概要

#### ★ 活動の動機・目的

「食」とそれを支える「農」について、五感を使い体験から学ぶ「食農教育」は、命と出会い、命と自然と食のつながりに気づくことができる食育として、幼児期の心身の成長などに大きな影響があると考えています。

J A三次では、食育基本法の施行前から農業体験活動や地域と連携した活動に取り組むなど、子ども達に心の豊かさを伝えていくJ A三次らしい食農教育に取り組んでいます。

#### ★ 活動の概要

平成13年度、「ちゃぐりんキッズクラブ」を次世代対策として結成し「食農教育」の取組を開始しました。平成14年以降は、支店を中心に地域の特色ある活動を展開しています。当初は58名だった参加者は、平成22年度では、2,436名となり食農教育活動の輪が広がってきています。

取組開始当初は、小学生を対象に実施していましたが、学校や行政、地域の方と連携を育んでいく中で、地域自治会や民生委員の方からの要望もあり、数年前からは3地区(和田、吉舎八幡、河内)の保育所も一緒に実施しています。平成23年度は、管内21会場で「ちゃぐりんキッズクラブ」を開催し、各会場で地域の特産品(水稻、サツマイモ、小麦等)を使った農業体験などの取組をしています。

三次市立和田保育所では、6月に田植え、9月に稲刈り、12月に餅つきと年間を通し食農教育に取り組んでいます。



## これまでの成果

J A女性部や地域の方々、また、保護者や地域関係者が一緒にこの取組を行うことで、地域の連携や結びつきが強化されたと感じています。

地域の方々には、ほ場の提供の他、「ちゃぐりんキッズ」ののぼり旗や看板などを作っています。

また、この取組を行うにあたり、三次市の教育委員会にも多大な理解とご協力をいただいています。

## 今後の構想

保育園（所）・小学校と連携し、地域が一体となった「食農教育」の取組を引き続き推進して行きたいと思っています。

また、現在、J A三次管内24小学校のうち16小学校と連携して取組を行っておりますが、他の8小学校でも取組への理解が得られるようにしていきたいと考えています。

## 稲刈りの様子(平成23年9月15日)

三次市立和田保育所の園児（6歳児、18名）と、三次市立和田小学校の児童（5年生、13名）により、稲刈り体験をしました。



むずかしい  
なあ～



こうして、  
刈るんだよ。



小学生のおにいちゃん、おねえ  
ちゃんと仲良くランチタイム



6月7日の田植えの様子

ほ場が保育園の前ということもあり、3年前から「ちゃぐりんキッズクラブ」に参加させていただいています。

農家の子でも、田植えや稲刈りはしたことがない子どもが多いので、これでお米ができるということが理解できれば、想いが違ってきます。

(by 和田保育所所長)

## 担当者の思い



和田 由紀さん

J A三次では、行政・教育委員会・学校・保育園（所）・地域住民組織等と連携を図り、支店を中心として地域一体型の食農教育活動を推進しています。『子どもは地域の宝 地域の子どもは地域で育てる』という意識の統一を図り、様々な出会いと感動を創り出す場の提供をしていきたいと思ひます。そして、自然と共にある農業の素晴らしさや故郷を感じてもらえたらと思ひます。